



## 平成28年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 タツモ株式会社

コード番号 6266 URL <http://www.tazmo.co.jp/ja/ir/index.html>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 俊夫

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 亀山 重夫

TEL 0866-62-0923

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年12月期第3四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第3四半期	7,366	△20.6	1,054	38.4	1,053	38.6	1,022	55.5
27年12月期第3四半期	9,280	55.3	762	—	760	—	657	—

(注) 包括利益 28年12月期第3四半期 800百万円 (31.2%) 27年12月期第3四半期 609百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第3四半期	266.86	266.65
27年12月期第3四半期	193.40	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年12月期第3四半期	14,208	4,513	31.2	1,155.36
27年12月期	11,125	3,724	32.7	951.46

(参考) 自己資本 28年12月期第3四半期 4,431百万円 27年12月期 3,642百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00
28年12月期	—	0.00	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,243	△8.3	1,273	25.7	1,279	34.8	1,081	5.9	281.92

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
 新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 大連龍雲電子部件有限公司

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年12月期3Q	3,835,591 株	27年12月期	3,829,300 株
② 期末自己株式数	28年12月期3Q	509 株	27年12月期	509 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年12月期3Q	3,832,612 株	27年12月期3Q	3,401,136 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この(四半期)決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりますが、この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1)経営成績に関する説明 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9
4. 補足情報 .....	10
(受注状況) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府および日銀による財政・金融政策の継続もあり、雇用情勢の改善は見られ、景気は緩やかな回復基調で推移しているものの、6月の英国のEU離脱決定により、急激な円高や世界的な株価の下落が進行した影響が残っております。また、中国や新興国、産油国等の景気の減速により、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが属する半導体・液晶業界におきましては、テレビなどの大型パネル用途では設備投資が中国に限定的となっておりますが、スマートフォンや携帯端末の普及で中小型パネルや電子部品の需要が堅調に推移しました。このような経営環境のなか、当社グループは、原価削減及び安定的供給活動を進めるとともに、顧客ニーズに対応した装置の開発と国内外問わず積極的な営業を展開してきました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は7,366百万円（前年同期比20.6%減）、営業利益1,054百万円（前年同期比38.4%増）、経常利益1,053百万円（前年同期比38.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,022百万円（前年同期比55.5%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### ①プロセス機器事業

半導体装置部門につきましては、スマートフォンの普及により、電子部品の需要が堅調であったため、売上高は1,549百万円（前年同期比32.1%増）となりました。

搬送装置部門につきましては、納期や価格は厳しい状況ですが、半導体装置メーカーの設備投資の増加により、売上高は2,521百万円（前年同期比6.7%増）となりました。

洗浄装置部門につきましては、前年と比較すると国内半導体メーカーの設備投資意欲が落ち着いているため、売上高は1,428百万円（前年同期比5.5%減）となりました。

コーター部門につきましては、中国における液晶製造装置の受注は増えましたが大型装置の検収がなかったため、売上高は798百万円（前年同期比73.7%減）となりました。

以上の結果、プロセス機器事業の売上高は6,297百万円（前年同期比22.1%減）、営業利益1,048百万円（前年同期比24.4%増）となりました。

#### ②金型・樹脂成形事業

金型・樹脂成形事業につきましては、価格競争により受注状況が厳しく、海外子会社での人件費や諸経費高騰のため、利益面でも厳しい状況が続いております。

以上の結果、金型・樹脂成形事業の売上高は1,068百万円（前期比10.9%減）、営業利益6百万円（前年同期は営業損失80百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は142億8百万円となり、前連結会計年度比30億82百万円の増加となりました。これは、受注の増加に伴う「たな卸資産」の増加が主な要因です。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は96億94百万円となり、前連結会計年度比22億93百万円の増加となりました。これは、大型装置の受注及び出荷に伴う「前受金」が増加したことが主な要因であります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は45億13百万円となり、前連結会計年度比7億88百万円の増加となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等による「利益剰余金」の増加が主な要因であります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年8月10日に公表いたしました「平成28年12月期通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社の連結子会社であった大連龍雲電子部件有限公司は、清算が完了したため、当第3四半期連結会計期間より連結子会社の範囲から除外しております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### (税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第2四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,153,026	1,122,605
受取手形及び売掛金	1,654,164	1,584,905
電子記録債権	223,403	1,110,896
たな卸資産	3,359,636	5,625,703
繰延税金資産	200,892	199,921
その他	450,457	707,395
貸倒引当金	△358	△420
流動資産合計	7,041,222	10,351,007
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,002,042	1,887,774
機械装置及び運搬具(純額)	488,756	480,236
土地	1,196,654	1,196,654
その他(純額)	203,464	166,333
有形固定資産合計	3,890,918	3,730,999
無形固定資産		
ソフトウェア	30,397	25,327
その他	5,681	5,511
無形固定資産合計	36,079	30,839
投資その他の資産		
投資有価証券	706	706
その他	357,177	317,277
貸倒引当金	△200,596	△222,711
投資その他の資産合計	157,287	95,273
固定資産合計	4,084,284	3,857,111
資産合計	11,125,507	14,208,119

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,841,991	2,179,945
短期借入金	2,671,848	1,713,364
未払金	653,880	501,971
未払法人税等	61,547	37,115
前受金	299,477	3,128,773
賞与引当金	47,768	168,525
製品保証引当金	162,901	148,446
その他	67,359	92,308
流動負債合計	5,806,774	7,970,450
固定負債		
長期借入金	1,092,848	1,338,682
役員退職慰労引当金	73,946	84,041
退職給付に係る負債	142,531	149,503
資産除去債務	73,123	65,277
その他	211,651	86,824
固定負債合計	1,594,101	1,724,328
負債合計	7,400,876	9,694,778
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,622,398	1,627,727
資本剰余金	2,136,556	1,549,648
利益剰余金	△351,965	1,246,397
自己株式	△729	△729
株主資本合計	3,406,261	4,423,043
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	236,677	8,445
その他の包括利益累計額合計	236,677	8,445
新株予約権	31,201	—
非支配株主持分	50,490	81,851
純資産合計	3,724,631	4,513,340
負債純資産合計	11,125,507	14,208,119

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
売上高	9,280,877	7,366,375
売上原価	6,973,679	4,629,109
売上総利益	2,307,198	2,737,265
販売費及び一般管理費	1,545,057	1,682,716
営業利益	762,140	1,054,548
営業外収益		
受取利息	2,374	942
補助金収入	13,543	66,353
その他	22,885	11,378
営業外収益合計	38,803	78,675
営業外費用		
支払利息	34,035	23,128
為替差損	—	51,478
その他	6,457	4,773
営業外費用合計	40,492	79,380
経常利益	760,452	1,053,843
特別利益		
持分変動利益	8,512	—
固定資産売却益	1,393	128
新株予約権戻入益	—	28,263
受取損害賠償金	—	9,402
為替換算調整勘定取崩益	—	51,797
特別利益合計	9,905	89,591
特別損失		
減損損失	22,648	—
固定資産除却損	—	16,326
特別退職金	23,522	—
特別損失合計	46,170	16,326
税金等調整前四半期純利益	724,186	1,127,108
法人税等	66,390	89,342
四半期純利益	657,796	1,037,766
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	14,981
親会社株主に帰属する四半期純利益	657,796	1,022,784

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	657,796	1,037,766
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△48,082	△237,718
その他の包括利益合計	△48,082	△237,718
四半期包括利益	609,713	800,047
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	609,713	794,553
非支配株主に係る四半期包括利益	—	5,494

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年3月29日開催の第44回定時株主総会の決議により、平成28年3月29日付で会社法第448条第1項の規定に基づき資本準備金の額を減少し、その他資本剰余金に振り替えるとともに、会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金の一部を繰越利益剰余金に振り替え、欠損の補填を行いました。

この結果、第1四半期連結会計期間末において資本剰余金が575,577千円減少し、利益剰余金が同額増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	プロセス機器 事業	金型・樹脂 成形事業			
売上高					
外部顧客への売上高	8,081,226	1,199,651	9,280,877	—	9,280,877
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	48,721	48,721	△48,721	—
計	8,081,226	1,248,372	9,329,598	△48,721	9,280,877
セグメント利益又は損失(△)	842,539	△80,399	762,140	—	762,140

(注) 1. 調整額は、セグメント間売上の消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「金型・樹脂成形」セグメントにおいて、中国における事業の再編により大連龍雲電子部件有限公司を解散及び清算するため、固定資産の減損損失を計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において22,648千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	プロセス機器 事業	金型・樹脂 成形事業			
売上高					
外部顧客への売上高	6,297,797	1,068,577	7,366,375	—	7,366,375
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	46,479	46,479	△46,479	—
計	6,297,797	1,115,056	7,412,854	△46,479	7,366,375
セグメント利益	1,048,301	6,247	1,054,548	—	1,054,548

(注) 1. 調整額は、セグメント間売上の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

4. 補足情報

(受注状況)

当第3四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (千円)	受注残高 (千円)
プロセス機器事業	9,288,640	9,143,674
半導体装置	1,748,680	2,745,763
搬送装置	2,666,897	1,369,011
洗浄装置	1,257,771	580,314
コーター	3,615,290	4,448,583
金型・樹脂成形事業	1,162,702	229,170
合計	10,451,343	9,372,844

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。